



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて思ったことは、
どんなに調べても本当はなにがあったのか
ことは、せつないわからないと言うことです。

平和についてかんがえたことは、戦争などの
あざむきをなくしてみんながなかよくいきて
いくことだと思えます。そして日本のように
他の国も原爆のひどさをしてぶきを、

もたないようにすればよいと思えます。

感想としては、この悲しい気持ちをつたえて、

みんながこんなことがあてはいけないと

思えるような話だ。たからよかたです、

最後に、今も原爆(ヒロシマ)によって(1945年

8月6日におとされた物)くるしみながら死んでいく

ことは、ひじょうに悲しくむなしいことだと思

います。そしてぼくはこの話を聞いて

ヒロシマの九日間を読んでみようと思

いしました



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けては、原爆は、やっぱり危険なんだとあらためて思いました。その理由は、たった80kgのウランだけで、広島をんなにしてしまう原爆は、こわいと思いました。そして、戦争は、広島のおんなをひきおこしたりするから、絶対にやてはいけないと思いました。そして、これからの日本は、非核三げんそくを守ていかなきゃいけないと思いました。原爆は、簡単に人の命をうばてはいけません。でも命は、大切だということがわかりました。そして、本当の平和は、世界中のみんなが仲良くしていくのがいいと思います。またリトルボーイは、本当に小さいウランだけで破壊していったのが恐いです。そして、ケカや暴力は、やてはいけないと思いました。池田義三さんは、本当にそのありさまをみていて、平和記念館（の）人形をきれいにする、といったことに少し納とくします。日本は、世界で一つだけの被爆国として、世界に核兵器廃絶と平和をうたえつづけなければならぬのです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

始め、「やはり、気持ちいい(楽しい?)話 ではあ)まり」と言っていたけれど、本当に、お話が 終わった後、皆がシーンとなる感じだったし、話の途中でなんと、とりはたか立ちました。このような事(戦争)がなようにしたいし、ケンカ・暴力は、とてな事があってもはいけないという事だ、改めて感じました。

「きれいな話」と義三さんが言ったと話し、ていつたけれど、本音、再現している物と、現物(は)の物とは全く違うんだらうか...。と思いはした。その時の人達は、一言で「苦しい」とは言えないはずだと思いはした。

やはり、原爆は危険なんだと思いはした。

なせかというらと、800g、たったの800g(コルホルル位)で広島をはかいてしまふからです。

あと、大量の命をうらばう、死の兵器だと思いはした。やっぱり、日本は、非核三ヶ条則

を守り、世界で唯一の被爆国として、国際社会にうたえ続けなければいけません。思いはした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくがこの学習をして心に残ったことは、五つあります。
まず、原子爆弾が広島におちて町がこわされて
しまったことです。すこし前まではふつうの場所だった
のに、突然、ボロボロになってしまうなんてとても考えられ
ません。それがほんとうにあったと思うとむくこわいです。

二つ目は、命の大切さです。いなくなりたくさんの人々が亡くなっ
て、おおぜいの人がつらい 思いをしたんだなと思い
ました。

三つ目は、人とは思えない人々がいはば「い道」にいるのを見て
何人もたすけようとするけど、けがをしてくる人がおおたる
というのはとてもこわいことだと思いました。

四つ目は、原子爆弾を空中で爆発させて、
よりひろいところまでこげきさせていることをはじ
めてしました。

五つ目はウランの量がゴルフボールくらいのおおきさでも
町をこわしてしまう力があることにびっくりして、とてもこわくなり
ました。

核爆弾はあてはけないとてもこわいものということがあ
かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の学習で、原爆の強さや、それによって起る被害、ひばく者の悲惨さが伝わってきました。

特におどろいたことは、原爆がうむ球体の表面温度が太陽の表面温度より高いことと、わずか800gのウランで、たくさんの町がやられました。これが落ちた日は、まさに地獄だったと思います。

原爆のことをよく知らない、原爆のおそろしさも知らないほくにして、原爆のことを知るきっかけになりました。また、戦争のむなしさや辛さを知ることができました。

また、実際に被爆した人の話をビデオで聞いたことで、そのときの様子や出来事が分かりました。

今日の特別授業で、戦争や原子爆弾のことについてよく分かりました。今日は有難うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私たちが知らないことをいろいろ教えてもらいました。

〈心に残ったこと〉

池田義三さんのお話しです。実際に見たところにはいた人々の話、話が分かりやすかったです。途中で泣いたとき、私も泣きそうになりました。あと、分かりやすく「アトム」や「カンム」の話、図表を見て、義三さんは、「キレイすぎる」といいました。この写真でも気味が悪いのに、もともと、もともと、かたんだと思います。

このいろいろな話を聞いて、広島ドームや資料館に行きたいと思いました。

小説「ヒロシマの九日間」パソコンで読みたいと思いましたが、話を聞いているうちに、もういろいろな事を知りたがり、本を見てみたい、と思いました。

広島「ひさん」、どんなに大変だったか、よく分かりました。

いろいろ、知らないことを教えてくれて、本当に、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話をきいて色々なことを学びました。どうして原子爆弾を広島と長崎におとしたのがその理由もせつめいしてくれていてとてもわかりやすかったです。あと原子爆弾の表面温度は、太陽よりあついで7000℃で中心は100万℃もあることを学びました。ぼくは原爆先生の話をきいて、原爆資料館にいたり、平和記念公園などにいらてさらにくわしく知りたいです。

ぼくはどうして原子爆弾がはやくはつするとキノコ雲ができるのかわががなくてすしぎもんにおもていたけど、今日その理由があつたのでよかったです。それに今日の話で広島市人口35万人中被災者24万人死者14万人で死亡率40%だということかあかり、原子爆弾で死者が14万人がたつたのはとてもかなしいことだと思いました。

それに広島、長崎をひさんな状態にされたウツもつかいかたと、ちよとあつたりたすはすれば長其月間つかえるようになることがあかりました。

ぼくは、こんでホームページをみてさらにしたいとおもい、封またさかいかあね、梅木小にきてたさい、よろしくおねがいします。

核のう合についてもしらべてみたいですよ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、池田先生の特別授業を受講して大きく変わったことがあります。それは戦争や原爆や、命の大切さです。

まず一つ、戦争のことです。ぼくは六年生になって、社会で戦争について、やりました。そこでは、ただ教科書などには、七つ、人達などの数が半分以上、書かずにいて、その実体験した人の感情などは、少ししか書いてなく、その当時の人達の気持ちを良くわかりません。でも、この授業を受けて、戦争を体験した人達の思いがわかり、本当の戦争のむづかさや、苦しさなどが、あつて、ぼくは少しは戦争について、知れたと思います。

二つ目は、原爆についてです。ぼくはただ、原爆が、落とされることしか知りませんでした。池田先生の話を聞き、原爆について、初めて知りました。日本は中々いつの原爆も、被爆国なので、これ以上、原爆で、苦しむ人をなくしたいです。最後に、池田先生のお話を聞いて本当に良かったです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ぼくは原爆を身近に教わる機会が少なかつたので原爆についてほとんど知りませんでした。ただ、広島と長崎にアメリカ軍によって投下された多くの命が失われたということしか知っていませんでした。

しかし、原爆先生のお話を聞いていろいろなことを教えてもらい、命の重みを感じました。原爆の爆心地では人が人とは思えないような姿をしていたと聞き、おどろくともにかゆいぐらいだなぁと思いました。また、原爆の表面温度が輝石よりも1000℃も熱いとおっしゃっていて、想像もできない熱さだと思いました。

ぼくの祖父は広島生まれです。原爆のときは、それを聞いて助かったものの、もしなければぼくは生かされていなかったかもしれません。また、ぼくは広島で原爆ドームを見たことがあります。とても悲しい出来事なのですが、戦争当時は仕方なかったと思います。

ぼくは今日の学習を通して、命の重みを感じました。そこで、せっかく生かされているのだから楽しく生きていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆の話をおどろきました。それを想像して聞いていると生々しい感じが頭の中を駆けめぐりました。話の中で知っている物などが出てきましたがあまり深くは知らなかったのが良かったです。その中で「ひび」と思ったことはリトルボーンが投下されたことです。そのリトルボーンが爆破してできた球体におどろきました。直径200m 球体の中の温度100万℃、球体の外面の温度7000℃太陽の外面の温度よりも暑いということがわかりました。そして地上の温度は3000℃で太陽の1/2の暑さということもわかり地上にいる人はその暑さで死んでしまったんだと思いました。義三さんから分間のビデオで話していたことがすごくへりに残りました。手をつかんであげると皮がズルズルとはがれ落ちるところなど想像してみたらぞ、ぞとしました。今日話を聞いて良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島に原爆を落とされ、たくさんの方がなくなったのはしていたけれど、その時の悲しさ、かなしみ、がったわりました。

戦争はだてはだてはいけない事だとあらためて感じました。

ヒロシマがナカサキは、なぜすぐに住める街となったのか、が気になりました。

あと、放射線はどこに行ったのか、テキストを見ていて気になりました。

ほくも実際に「ヒロシマ」という本をよみました。「ヒロシマの九日間」という本を言読んでみました。

原子爆弾の威力を説明してくれていた時に、「アトム」「ガンダム」などが核融合エンジンで働いているとおしえてくれました。

核融合エンジンと、核分裂エネルギーのちがい、について分かったのがよかったです。

広島、長崎に原子爆弾がおちたという事を忘れてはならないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

私が原爆先生の話を聞いて、一番びっくりしたことは、
最後のまに言われた「広島平和記念資料館」のかけ算です。
8ヤードの図32の人形を見て「きれいすぎる」の一言を言われた
と耳にしたことです。私はこの言葉を聞く前に図32を見て、
「おや、こんなにきれいな？ プロテスタント」などと思っていました。
なのに、この図32以上のきれいさになると想像がつかずせん。
ふいにとびりこして、ポーゼンとしてしまいました。私は、なぜそんな
ことをするんだらう？ と思いました。
一番しつこくを繰り返すのは、ウランの威力です。一ルッボール
一個、8008万人をにらむのけいといと思います。私は「あんなに
なるとらいたから、そうとう大きく、多くの命があとされたんだらうな」
と思いました。しかし、私の想像はけるかにさえて、あんなに小さく
て、あんなにの威力でした。5kg全部70と60倍 60倍75んで
想像しては分かりません。
それと四方、八方に船ぶからと、7上空から落とさずいて
ほしいです。なんでそんなにしたいの？ と私は思いました。
私は「もっと平和にしたい」、「今は平和で良かった」
「世界中が平和にな、てほしい」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはあつかな800gのゴルフボールぐらゐの大ききで
ヒロシマの広い範囲を破壊してしまうことに一番まど
ろきました。それになせ原子爆弾を落としたの
か気が来ました。原子爆弾は太陽が熱い
ということによろきました。被害者はとて
もかわいそうだと思ひました。ぼくも一度は
広島に行つてみたゐです。ぼくははじめて
放射線と放射能のちがゐをしりました。
これから原子爆弾ももろるんじやあ器
になつてもは持たないつくさなゐようにな
つてほしいゐです。それに争ゐごとや
戦争がなくなつてほしいゐです



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆の事をそんなに知りませんでした。
でもこの授業を受けて原爆の事をよく知る
ことができました。

広島に投下された原爆の名前がリトルボーイ
だということをはじめて知りました。

原爆を落とす第一こうほは広島で第二
こうほは小倉で第三こうほは長崎だとい
うことも知りました。

原爆の中心温度が100万℃で外周温度は7000℃
でびっくりしました。

衝撃波の速さが毎秒500mで音速の
350mより速くてびっくりしました。

小学2年生の夏休みに習い事の躰道の
大会が広島であって原爆ドームや原爆資
料館原爆いれいひと公園に行ったこと
を思い出しました。

またこんど広島に行つて原爆の事を
知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて、びっくりしたことや、はじめて知ったことがたくさんありました。

まず、原爆のおそろしさを、あらためて知りました。

被爆された人たちのようすが、目にうかびました。

それに、衝撃波の速さが、音速よりも速いと知ってびっくりしました。

あと、球体の中心温度が約100万度、球体の外周温度が約7000度と、太陽よりあついということにもおどろきました。

地面も3000度と、鉄をとかす温度より、あついということでも、びっくりしました。

あと、原子が、核分裂エネルギーでうごいているとはじめて知り、マンガの中なのに、細かいなと思いました。

今回、原爆先生のお話を聞き、とても勉強になりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは原爆とやらを被爆したりすごい火の海になっ
たりするのばと思ていましたか太陽と同
じような物が上空約500mで起ったとい
うことも約ゴルフボール1個分が爆発した
だけで約被害があるとは全然しからな
たので、自分でほすいおとろきマした。

特に1番おとろいのか、被爆したあと
の方射線に当るなる症状です。げり、おうとやが
糸回らちYESです。今でも原爆の方射線
の影響で苦しんでる方々を思つて核爆弾
を怖いなあをよく思ます。と言つてもほく
たちはそれを経験したことがないので
よくわかりませんが絶対に使つてはいた
いということはおしあが合ので上手に言
り続けていきていと思ます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは初めて原爆トムや、原爆資料館にも行かず、
無いし、原爆の事を詳しく知りませんでした。自分生人で、
上空、500mの所に落とすだろうと思いました。でもそのほうが、あ
ちこちに行くよりいいです。でもまた、50kgのうち、300kgで良かったです。
50kgが爆(おした)、とんでもないことになっていました。でも800kgでも、
広島市が焼け野原になってしまうぐらいのいびくを持っている人
で、こわいです。原爆でやけどをして、助けようとしても、相手の皮が
はがれてしまって、逆に苦しめることになる人、かわいそうでは
うがないです。防火用水桶に、ほぼ、1人、人が死んでいる人
で、あまりにも、残こくです。その桶に入った人が赤くふく水あがて
いると聞いた時、ぞ、としました。でも、た、た800kgのウラコで、
人が次々と死んでいくのがこわいです。でも原爆が東京にたく
て落ちたと思いましたが、広島に落ちて、人が死んだと聞くと、
自分が生で、ひどいことを言っていたのが分かりました。
人が簡単に死んでいくなんて、夢にも思わなかったです。
このことをじかくして、生きていきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業で、おどろいたのは、爆弾の温度のことです。中心が約100万度、外側が太陽よりも熱い7000度というものが、570メートルとまできたら、こうなってしまうかと思えます。広島や長崎の人々は、苦しんだのだと思えます。このような被爆者を出さないためにも、二度と戦争は、やめてはいけません。

戦争は、何人もの人々を苦しめるということも分かりました。遺体を見つける時、遺体が焼けて、黒くなっていたり、やけどをして、良かほがれているということも聞きました。ぼくだけに、冷静には出来ません。原子爆弾のおそろしさが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話を聞いてぼくは、とてもおどろきました。

ぼくがおどろいたことは、まず、地面から570mのところに、中心が100万度、ひょう面が7000度の太陽よりあつい原爆が落とされたということです。そのとき、地面の温度は3000度でした。この、3000度の地面に立っていた人はとてもあつく、苦しい思いをしていたんだなと思いました。

もう一つおどろいたことがあります。それは、50kgのうち800gのウランで広島をばかしたということです。この800gで広島をばかしたのなら、50kgではどんなふうになっていたのかと思いました。

また、長崎にも原爆が落とされたたくさんの方が死んでしまいました。

このようなことがこれからおこらないようにしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の知らないことばかり、たり、原爆は、ほんの少ししかはつきしてないにしかおわった。しました。原爆のまえろしに初めておかりました。在島の人、ほんとうにかわいそうだと思いました。在島市は、ウレのせいで、者かだったり、この言をしと聞いてけんばくのおえろしをはいじめていました。最初はおじいさん52歳の時にゆつていた51歳の人にみさんだった次にカニダ4とアト4のエアルギを初めてした。- 青いんいうのがたつたのは、原爆の速さが毎秒500mで音速は350秒だったので7秒51の速さがきになりました。原爆は、そこまでみさんだったとは、しみじみでした。この授業を受けてとてもよかった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島や長崎に投下された理由や原子爆だんのくわしい事などがよく分かりました。私がこの授業を受けて一番に残ったことは、原子爆だんの温度です。原子爆だんの中には、100万℃、表面温度は7000℃。どちらも太陽より温度が高くて想像できませんでした。広島に落とされた原子爆だんの中のウランの量は800gというゴルフボール1コ分ぐらいしかないのに、広島はすごい被害だったのでウランがもっと大量に使われていたらと思うとこわくなりました。原爆資料館で女の人の模型の写真を見ただけで気分が悪くなりました。しかし、それでも「きれいすぎる。」と言ったと書かれていたので背筋が寒くなりました。このような戦争が起きないように、平和主義という憲法を守ってもらいたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

私は、原爆先生の授業で、原爆を悪い方へ使うと、どれだけの大きな事が起こるか学びました。

ひふが焼けたたれ肉や骨も見えていたと聞き、想像してみると気持ち悪く、おそろしかったです。

死体の焼却の話では、焼けたたれうじ虫もわいている死体をおもって死体の顔が横に見えた、ズルズルとしたひふなど私が焼却をすることになったら、おそろしくて吐けだしてしまうと思います。原子爆弾を落とすころほど、広島はアメリカ人がいないと考えていたからなど、おどろきました。

長崎は運が悪く、あの時雲に切れ目ができなかつたら落とされなかつたかもしれないか、と思います。

私が一番おどろいたのは、原爆の温度が7000℃だということです。7000℃と言われるとピンときませんが、太陽よりもあついと聞いて、本当におどろきました。

リトルボーイのかくぶんれつしたウランは800gだけと

いうので、もし50kgが全部かくぶんれつしたら、と思うとおそろしいです。今日は原爆先生の授業が受けられ良かったです。原子爆弾は絶対に使てはいけないと思



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/1

ぼくは2月1日に原爆先生(じゅこう)の特別授業を受講して、いろいろ話を聞きました。一つ目は上空400メートルで原爆をおとすことです。なみだり上空400メートルから原爆をおとすと400メートルから原爆をおとす方がいろいろなところに被害がおきるからです。二つ目は島病院の570メートル上空でリトルボーイという原爆をおとしたこととリトルボーイの名前の由来は子(こ)と大(だい)佐(さ)という大佐の母がリトルボーイというから原爆リトルボーイの名前がついた。三つ目は原子爆弾の威力です。原子爆弾はおとすと太陽が上空500メートルにきているというおつさと同じもう一つは原爆は金穴を叩いてしまつことも知った。三つ目は空気が原爆をおとすと空気が真空(じやくう)になることがわかった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の恐ろしさをぼくは特別授業を受講して、
もっと分かったことがあります。

1つ目は、原子爆弾にある「ウラン」が、わずか800g
使うだけで広島が破壊されることです。もし800g
以上のウランが日本に投下されたら………と考えると
恐ろしくなります。

2つ目は、原子爆弾の中心温度と外周温度が
太陽の温度より大きいことです。投下されたこと
により多くの人々たちが熱で亡くなってしまい、
体の皮ははがれ落ちるなどして重体の人々が
数々出てきます。

最後は、原子爆弾が爆発する速さは、「音
速」より速い約 $\frac{1}{10}$ 億の速さであることです。したが
って約 $\frac{1}{10}$ 億の速さで多くの人々が死んでしま
うのです。

ぼくたちは「原子爆弾」という恐しい核兵器
をやめ、「平和」でなろうとする行動をとることが
必要だと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

ぼくは、今回原爆先生の授業を受け、広島の人々な状態を改めて思い知りました。

どこもボロボロの建物があり、しゃく熱地獄だったようです。広島の人たちがどんなに辛い思いをしたかや生き残った池田さんの気持ちを考えるたびに胸が痛みました。原爆が落ちてからのあ、というまの出来事、きっと恐怖を感じるひまさえなかったのだと思います。広島の資料館もどうやら、途中で気分が悪くなり、全て見られる人は数少ないようです。だが日本は唯一原爆が落とされた国、本当は全て見るべきなのかもしれません。上空500mに太陽がせまってきたような暑さ、だれもがボロボロの皮膚で水を求めて歩きまわっている様子が目にうかびます。このように、今回の授業ではたくさんを知ることができました。もうこの悲劇を二度とくり返してはいけません。親から子への関係で、いつまでもおすすすに伝え続けていくべきだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業ではいつもの
社会の学習では聞けないこと
がたくさん聞くことができました。

今までよく知らなかった原爆の
ことがわかり本当にひさんな
事だと思いました。

わたしはこれから、被爆者
の思い等をしんげんに聞くように
してもう戦争を二度と起こさな
いように伝えていきたいです。

今日は原爆がもたらすひさん
なこと原爆のいかな等たくさん
教えていただきありがとうございます
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、この世にそれほど残さぬ事があるのかと胸を痛めました。たった800gのウランで広島に大きな被害が出て、もし50kg全てのウランが核分裂したら広島だけでなく日本中全体に広がっていたのかなと思いました。「リトルホーイ」が投下された直後の地面は約3000℃もあって、アスファルトがぐっぐつとにえたぎってしまいうくらいに熱があって、もし私がそのような状況になっていたら一体どうなっていたのだろうか、私では想像できないくらいに過酷だったのかなとも思いました。放射能と放射線のちがいは今もよくわかりませんが、放射能から放射線が発生する、という事はわかりました。「ヒロシマのうた」でぞてきたきのこ雲とはどのような物なのだろうと思っていましたが、原子爆弾んが真空状態になった時真空地帯から、上しよ airflow があがりきって横に広がりきのこ雲になるということもわかって良かったです。もう二度とこんなひどい事はおこってほしくないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日の特別授業を受けて日本国民として考えなければならぬことがたくさんできました。

広島^の原爆の写真を見て、悲しい思いになり、原爆先生の話を聞きると悲しい思いになりました。おどろいたことは原子爆弾は太陽より熱い約7千度もあるということでした。

約7千度が目の前にあるというのは全く想像が付きませんが、そのなかで生き残った方は、生きる希望があると思いました。

そして池田義三さんが原爆資料館にあって女の人のそのころの様子と考^えてつくったマネキンのようなものを見たとき、もっときれいだったとおっしゃったのには池田義三さんしか言えない言葉だと思いました。

私^{たち}は世界^中の被爆国として次の世代へ伝承していかないと感じました。

そしてかくへいきをなくすこと^をうたえ続けなければいけ^{ない}とあらためて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

広島や長崎に落とされた原爆について、細かいところまでわかりやすく説明していただきました。50kgの核のうち500gだけのものが爆発して広島のみちが焼け野原になって、50kgがすべて爆発したらどうなるか考えただけでもおもしろいです。

原爆資料館で、焼けた木の人たちの模型の写真を見たりして、気持ちが悪くなるのに、実体験して池田さんはリアルなものを見ていたのだ、と驚かされました。木がこんなものだったか考えるのにおもしろいです。そして、広島や長崎以外にも原爆が落とされたところもあるということもわかりました。長崎や広島の日がもし、アメリカ軍が原爆を落とそうとした日に悪くて視界がさくらさくらしていたらこんなことはおこらなかったかもしれないと思います。これは人によっておこると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

ぼくは原爆を落とした一瞬で広島の人々のあとかたもなくなってしまったことをこの学習を通して初めて知りました。そして、その広島を破壊した原爆の核分裂をしたウランは全体の0.16%で800gでしかないようなので、積み重ねたウラン50kg全てが核分裂を起こさなくてよかったですと思いました。しかし、800gでも広島市の人口の約70%が被爆して、40%が死亡してしまった原爆はおそろしいと思いました。原爆の温度が中心部が100万℃表面部が7000℃爆心直下でも3000℃といふ高熱といふことでおそろしいと思いました。爆心地は空気が急にぼうちゅして真空状態になり上昇気流が起こり、きのこ雲ができるそのでき方もわかりました。本当に原爆はおそろしいと思いました。核は世界から無くなってほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

広島に原爆が落とされたのは、
アメリカ人がいないから、ということも初めて
知りました。小倉という所に落とそうとして
いて、しかも天候で落とすかを決める
というのも初めて知りました。

原爆の中のウランが 50kg でその中の 800g
で広島^の街がなくなってしまうということに
おどろきました。

太陽よりも熱い物がせまってくるなんて
想像ができないけど、それが実際にあったこと
なんだと思うとおそろしいです。

死亡率が40%にもおどろきました。

「それちがう人が人間でうれしい」ということ
にはとてもおどろきました。考えられないことです。

死んでいる、ひどい姿の人を探して運ぶ
という仕事は私にはできないと思います。

原爆から、まちをここまで復活させたり、
昔の人はとてもすごいな、と思いました。

昔の人を見習ってがんばりたいです。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆についてよくわかりませんでしたでしたが
今日の話を聞いて分かったことがあります。
まずは原子爆弾についてはわかった事は原子
爆弾の中の暑さは100万ともありその外側の温度
は太陽の暑さは6000℃もありそれよりも暑い7000
℃と言う暑さが5700mしもちかくにきたら地面は3000
℃になりそんな近くにきたらすぐに死んでし
まうのでその暑さをあびた人たちは全体がやけどを
おたようなかんがえのでもものすごくいたかったと
思いました。あともう一つは衝撃波の速さ
です。音速は350m/秒で毎秒12500mなの
で音速より爆はつする速さのほうが
速いということがわかりました。
ぼくは原爆のことがくわしくわかった
のでとてもよい体験になりました。
た。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生から原爆に関する
いろいろなことを教えてもらいました。
おどろいたことは原子爆弾のまわりの
温度が7000℃(太陽は6000℃)でそれが
上空500mのところにあつたことです。
地上はなんと3000℃もあつたときいて
あついなんでもものではないなと思ひ
ました。人がだんだん人ではないよ
うになつていつたと聞いておどろきま
した。このことはわすれてはいけな
いと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆の事についてよく知りませんでした。今回の特別授業を受けて被がいに合、た人はうらく、苦しんだということも学びました。17才という若さで軍隊に入り、国のためにがんばっていたんだと知りました。

た、た800gですごい爆はつする事におどろきました。

球体の中心温度が約100万℃という想像できないほどの熱さだったんだと思いました。

私は原爆について他人事だと思わず、今生きている事が幸せなんだと実感しました。

原爆とは、たくさんの人が悲しむ、

ひさんなもので、原爆先生には命は大切な物なんだと教わりました。

私はこの世から戦争や原爆がなくな、てほしいと思います。そして未来に命の大切さを伝えたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

ぼくは原爆先生の話しを聞いてすごく悲しかったです。

なぜかというと、広島に原子爆弾が降ってきたとき、多くの人びとがはがれている人がいたり、死んでしまっていた人がいたりして、とってもかわいそうでした。長崎は天気が悪かったから中止かと思っていたけど、雲がきれ、長崎にも原子爆弾が降ったと聞いて、ぼくは「何んで雲がきれになった、きれなかったら長崎は、助かったはずなのに」と思いました。

広島だけでも、広島市人口は35万人いたのに、

被爆者数 24万人、死者数 14万人

死亡率 40%と資料に書いてあり、原子爆弾のいかにすごいなと思いました。

ぼくは、もう原子爆弾を降としてはいけないと思いました。それで人を悲ませないようにしたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことは社会でも学習した。その時も
原爆はこわいものと思っていた。今日原爆
先生の特別授業を聞いて感動した。二つ
目を感じました。理由は一つあります。
一つ目は一瞬間で何万人もの命を奪って
しまうからです。どカッと光った瞬間
にも一瞬で何もかも全部はかいさらけ
からて了。

二つ目は焼死した人の死体はそこま
たくさん。たいていどこでも子供は水を探して
川に投げて死んだ子供と、湯を飲んで蒸発して川
の中も死んでいった。水が枯れてしまった
とされた。と聞いて驚いた。

三つ目は爆発した瞬間の温度は
原爆は中心の温度がなんと何百万度まで
瞬間にビックリするほど高くなる。外
の温度は中心の爆心直下温度はなんと
何百万度まで高くなる。ビックリする。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「原爆」というものは、私の考えの中で「とても恐ろしいもの」という認識しかなく、それしかないからこそ、直視できないもの、深く関われないものでした。ですから、授業の前はとて不安でした。それ以上に、恐ろしいものを見ることへの恐ろしさの方が強かったかもしれません。でも、講師の先生を見て少し安心しました。おだやかな表情の男性だったからです。そして、はじめの言葉として「悲しい話ですが、みなさんの中にいつまでも残るような話にしたいと思っています。」と言われ、今まで直視してこなかったことに罪悪感を覚え、悲しい事実だからこそ今きちんと知ろうと思いました。原爆先生は、原爆が落とされたときのリアルな人々の様子や原爆を落としたアメリカのこと、原子爆弾のいかや放射線と放射能の知識のことなどもわかりやすく説明して下さいました。中でもウランがたったゴルフボール1個分で広島が破かいさせたことを知ったのは、しゅげき的でした。今も、外国では同じような核兵器やそれ以上のものがあります。それをはい除し、平和な「世界」が実現するように努めるなくてはならないと思います。